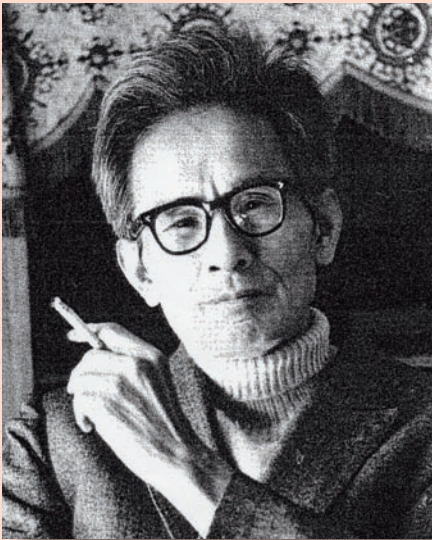


小説

斯波四郎

山口市
(1910～1989)



【著作】

- 『山塔』（昭34・文芸春秋新社）
- 『檸檬（れもん）・ブラックの死』（昭34・講談社）
- 『愛と死の森』（昭35・雪華社）ほか

斯波四郎（本名柴田四郎）は、山口県阿武郡篠生村（現・山口市阿東）字築地、父柴田浅吉、母タケの四男として、明治四十三年（一九一〇）四月七日生まれる。柴田家は蔵目喜村の庄屋、柴田氏の一族で、遠い昔は士族から帰農したものという。父浅吉は耕雨と号し、篠生村の十二代村長を務めている。

柴田四郎は大正十三年、三谷小学校高等科を卒業、幼少の頃は病弱であった。四郎が十五歳のとき父が急逝。大正十五年山口県立山口中学校へ入学、在学中、成績が三番以下になることはなかった。

昭和三年、中学三年の四月、福岡県立中学明善校に移り、昭和六年明善校卒業。第五高等学校理科甲類へ入学したが、昭和九年高等学校を中退した。昭和十二年『東京日日新聞』高田通信部員に採用される。

昭和十四年六月、郷土部隊慰問隊に従いて中国上海、南京方面に行き、八月に無事帰任、昭和十五年新潟支局員に転任。同十六年一線従軍記者になる。昭和十七年サンデー毎日勤務。

昭和十九年、大分県大南町の庄屋の家柄の父武一、母ツネの次女、釘宮小夜子と結婚挙式をした。

昭和二十三年、暫くやめていた小説を再び書きはじめる。昭和三〇年代頃からの著作に、『禽獣宣言』『山塔』『檸檬（れもん）・ブラックの死』『愛と死の森』『月曜日の憂鬱』『含羞の花』『故園』『茉莉子』『少女幻影』『羊歯の紋章』『夜間登攀』『禿鴈の苑』『木靴をはいて』『群鳥の巣』『椿の記』『夜の禽獣』『黒い森の石』『夜の乳母車』等。

右の作中の「山塔」は第四十一回芥川賞受賞作である。斯波四郎は、平成元年（一九八九）四月二十九日、七九歳で永眠した。斯波四郎の遺作品『仰臥の眼』を、平成二年四月、著者・斯波四郎、編者・柴田小夜子により出版した。

（文・倉増 清）



生家（篠生村字築地）

夫のふること

山のまの日当る村を眼下にし
並ぶ墓は夫の父母
丘の墓地より見たす村の畑中に
夫が育ちし藁葺きの屋根
夫が生れし藁屋の見ゆる山あひの
里を横切りSLがゆく
時長くふるさと人と話す
夫を待ちたり墓山の道に
溪川をへだてまむかふ山親し
わがまもる間に峯の日かげる

柴田小夜子詠む（現『青南』選者・編集委員）
（昭和五十七年『山塔』の舞台である郷里を訪ねた時の歌）

斯波四郎 年譜

（提供・倉増 清）

明治43（一九一〇）年

大正13（一九二四）年

大正14（一九二五）年

大正15（一九二六）年

昭和3（一九二八）年

昭和6（一九三一）年

昭和9（一九三四）年

昭和12（一九三七）年

昭和14（一九三九）年

昭和15（一九四〇）年

昭和16（一九四二）年

昭和17（一九四二）年

昭和19（一九四四）年

昭和23（一九四八）年

昭和30（一九五五）年

昭和32（一九五七）年

昭和34（一九五九）年

昭和35（一九六〇）年

昭和37（一九六二）年

昭和39（一九六四）年

昭和41（一九六六）年

平成元（一九八九）年

《没後》

平成2（一九九〇）年

昭和15（一九四〇）年

昭和16（一九四二）年

昭和17（一九四二）年

昭和19（一九四四）年

昭和23（一九四八）年

昭和30（一九五五）年

昭和32（一九五七）年

昭和34（一九五九）年

昭和35（一九六〇）年

昭和37（一九六二）年

昭和39（一九六四）年

昭和41（一九六六）年

平成元（一九八九）年

《没後》

平成2（一九九〇）年

山口県阿武郡篠生村築地（現・山口市阿東）生まれる。本名柴田四郎、父は農業（後村長 柴田浅吉、母タケの四男。三谷小学校高等科卒業。父浅吉急逝。県立山口中学校入学。中学三年の四月福岡県立中学明善校に移る。明善校卒業。第五高等学校理科甲類へ入学。第五高等学校中退。

『東京日日新聞』高田通信部員に採用される。

6月、郷土部隊慰問隊に従い、中国上海、南京方面に行く。

8月、無事帰任。

3月、新潟支局員転任。従軍記者になる。

『サンデー毎日』勤務。

大分県大南町の釘宮小夜子と結婚。暫くやめていた小説を再び書きはじめる。同人誌『立像』創刊。「禽獣宣言」発表。

『禽獣宣言』（朋文社刊）

『山塔』発表。（文芸春秋新社刊）

『檸檬（れもん）・ブラックの死』発表。（講談社刊）

『愛と死の森』発表。（雪華社刊）

『月曜日の憂鬱』発表。（講談社刊）

『緑の鳥』（学習研究社刊）

『含羞の花』発表。（審美社刊）

4月29日死去。死の前「静謐のなかに見えるもの」発表。（『文学界』）

『仰臥の眼』（斯波四郎の遺作集） 柴田小夜子刊行。